

令和2年度

# 自己評価報告書

令和3年6月2日

自己評価委員会

## 1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか

- ・本校の教育理念、建学の精神、またそれを踏まえた育成人材像は明確に定められており、学校HPや入学案内パンフレットを通して、学生・保護者等に周知されている。
- ・本校の育成人材像は、教育理念、建学の精神を核としつつ、学生の卒業後の就業先である美容業界が求める人材ニーズにも適合していると認識している。
- ・教育理念、建学の精神に基づき、美容師国家資格の取得だけに留まらない将来を見据えた幅広い美容教育、美容業界の発展に寄与する人材育成に取り組んでいる。
- ・社会のニーズ、美容業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いて構想を練っている。学校事業の取り組み方針や今年度の課題等に関しては各会議を活用して教職員への共有化が図られている。

## 2. 学校運営

評価項目
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか
2-6-1 意思決定システムを整備しているか
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

- ・教育理念等に沿った学校運営方針は取りまとめており、毎年、教職員間で内容を再確認し、徹底を図っている。
- ・本校の教育理念、建学の精神をもとに「事業計画」を定めて、取り組み内容に応じて予算を配分している。また、事業やプロジェクトごとの執行・進捗状況についても各会議にて把握され、必要に応じて適宜見直しを行っている。
- ・理事会、評議員会は適切に開催されており、学校運営に関わる重要な事項については、理事会の承認を得て実行している。
- ・学校運営のための組織は機能的に編成されている。各部署の役割分担が明確にされており、組織運営のための規則・規程類の整備も行われている。
- ・人事・給与に関する制度はしっかりと整備されている。
- ・意思決定システムは整備されおり、意思決定の権限等は明確になっている。また、各会議体も機能的に運営されている。
- ・令和2年度は情報システム化をさらに見直し、継続的に業務の効率化と成果に繋げていくように改善した。

### 3. 教育活動

評価項目
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか
3-9-3 キャリア教育を実施しているか
3-9-4 授業評価を実施しているか
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか

- ・カリキュラム編成方針は運営マニュアルにて定めている。修業年限に応じた教育到達レベルを学年科目毎に表示している。学内において技術毎に認定試験の合格基準を明確に設けている他、専門課程専門科、通信課程通信科においては「美容師国家資格」取得が、専門課程総合美容科においては「国際ライセンス」等の取得が教育到達レベルの一つとなっている。
- ・本校では、教育理念、建学の精神を核として、美容業界で求められる人材像を踏まえた上で、マニュアルに定められているカリキュラム編成体制、検討スケジュールに基づいて教育課程を編成している。カリキュラム編成にあたっては、美容師法にて定められている必修科目ごとの時間数を満たすように設定し、選択必修科目においても適切に授業時間を配分している。また、修了に関わる授業時間数は「学則」にて定めている。
- ・キャリア教育の一環として、様々な美容スキルが習得できるような教育の場を設けている。
- ・各学科ともに1年間の修了時には学生からヒアリングを行い情報収集している。その中からカリキュラムや授業内容に対する意見を収集することが出来ている。また、課外授業など希望者のみが受講するコースについても同様にヒアリングを行っている。
- ・成績評価の基準については学則等に明確に規定している。
- ・学科試験の採点については教員間で情報を共有し基準を統一している。また、実技試験の認定試験の採点については、客観性・統一性の確保に取り組んでいる。
- ・作品及び技術等の発表における成果は把握して写真とともに記録に残しており、その一部は本校HPや同窓会機関紙にて情報を公開している。
- ・目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけており、専門科、通信科においては「美容師国家資格」、総合美容科においては「国際ライセンス」等の100%合格を目指している。
- ・「美容師国家資格」及び「国際ライセンス」の取得については万全の指導体制を整えている。その他、各種美容関連の検定試験においても取得に向けての指導体制を整備している。
- ・美容師国家試験の不合格者については、卒業後も受験科が受験対策講座を開催しておりサポート体制を整備している。
- ・本校の提供するカリキュラム・授業運営に適した能力・資質を持つ教員を十分に確保している。
- ・本校では、教員の資質向上に向け、毎年研修計画をたて運用している。また、コンテストへの参加や資格取得などは年間を通して推奨しており自己啓発を支援している。
- ・本校では、学科、部門別に適切な組織体制が整備されており、担当教員間での連携・協力体制はしっかりと構築されている。

#### 4. 学修成果

評価項目
4-13-1 就職率の向上が図られているか
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか

- ・就職サポートは学生の主体性を大切に学生一人ひとりのニーズを的確に捉えた上で、クラス担任と進路相談室の担当者により行っている。就職活動における心構えや活動方法等を進路相談室担当より「就職ガイダンス」にて伝えている。
- ・美容師国家資格の取得は100%を目標とし、通常の授業に加えて、受験対策講座を開講している。合格実績、合格率については受験科にて全国水準及び都内の美容専門学校との比較を行っており、より高い合格率を目指して、毎年、指導方法のレベルアップに取り組んでいる。
- ・卒業生の社会的評価は、就職先のサロン等や母校を訪問する卒業生からの近況報告による情報が主な情報源となっている。

#### 5. 学生支援

評価項目
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか
5-17-1 退学率の低減が図られているか
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか

- ・進路相談室を中心に就職支援のための組織体制は整備されている。求人情報は毎年、新しい情報をまとめて、学生たちがいつでも閲覧できるようになっており、学生の就職相談にはクラス担任と就職担当がダブル体制でサポートしている。
- ・学生相談に関する体制は手厚く整備されている。退学率の低減に向けては、悩んでいる学生との面談はクラス担任の他、組織的に教務全体で連携体制を取り、きめ細やかなフォローを行っている。また、日々の指導にあたるクラス担任の他、内容に応じて本校の様々な教職員が学生相談に応じることができる体制となっている。
- ・留学生に関しては、入学前は事務局の部署が対応するが、入学後は他の学生と同様にクラス担任が相談等に応じ、留学生担当の職員と連携している。
- ・学生の経済的側面に対する支援としては、就学支援の機関校として学生支援機構の奨学金や民間金融機関の学資ローン借入等の窓口として相談や手続きの支援を行っている。
- ・本校では学生の健康診断やインフルエンザの予防接種、感染対策等を実施している。健康に関しては学内の衛生管理者を中心に、必要に応じて学生全体への啓発活動を行っている。
- ・本校では、学校提携の学生寮として数社の学生寮の管理会社と連携している。学生が学業に専念できる環境を整えている。

- ・美容技術を学ぶ課外授業を設置している。また、学校代表として学生が外部のコンテストに参加する場合の指導・支援体制は充実しており、技術指導はもちろんのこと、コンテストへの引率等の支援も行っている。
- ・保護者に対しては、必要な時にお知らせの送付やHPに掲載し、学校の行事等についての情報提供を行っている。
- ・同窓会を組織しており、学校を活動拠点としている。主な活動内容としては年に数回、同窓会機関紙を発行し情報提供を行っている。
- ・本校には、「日本ヘアデザイン協会（NHDK）」や「NB ユーгент」「全日本婚礼美容家協会」「日本エステティック協会」「日本エステティック業協会」「日本ネイリスト協会」に所属している教職員がおり、関連業界と連携・協力しながら美容業界の発展に寄与する様々な活動を行っている。  
また、これらの活動を通して学んだ美容の知識・技術等は授業等で活かされている。
- ・社会人経験者の方についても教育環境は他の学生と共通である。本校では専門課程昼間部・夜間部については「教育訓練給付金制度」が活用でき、間接的に就学支援を行っている。

## 6. 教育環境

評価項目	
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか

- ・美容教育の必要性に十分対応した施設・設備・機器類等を整備している。今年度は、全施設の抗菌コーティングを施工し感染対策を行った。毎年、必要箇所の塗装工事を行うなど、気持ちの良い校内環境の維持に努めている。
- ・令和2年度はコロナ禍の対応により、大型モニターを設置しオンライン授業を行える環境を整えた。またeラーニングシステムを導入しタブレットを使用した新しい学習方法を導入し、学生が十分に勉強できるよう環境を整備した。
- ・本校では、年間を通して様々なイベントを行っている。各々、実施要項・マニュアルが整備されており、担当者を中心に適切に運用している。
- ・防災に対する組織体制は整備され、適切に運用されている。毎年、教職員・学生対象の防災訓練を行い、事務局には防火・防災管理者の資格を保有している者を配置している。また、事務局の職員が救命講習を受講し、さらに体制が強化された。
- ・安全対策については年間計画に基づいて取り組んでいる。授業時間中は校舎の入り口に警備員を配置し、閉館後は全館セキュリティをかけて防犯体制を整備している。また、授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルは毎年、見直しを行い適切に対応できる体制を整えている。

## 7. 学生の募集と受け入れ

評価項目	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか

- ・高等学校等で開催される進学ガイダンス、説明会に積極的に参加し、本校の教育方針やカリキュラム等の情報提供を行っている。また、高等学校の教職員に対する説明会にも毎年参加し、本校への理解を深めていただいている。
- ・AO入試、指定校・公募推薦入試・一般入試と進路を検討する学生の選択肢を広げた。また、既卒者や社会人向けに社会人入試を行い、いずれの入試も適切な時期に受付・試験の実施を行っている。
- ・体験入学、個別相談は土日を中心に年間通して行っている。平日には放課後体験入学や、昼間部、夜間部、総合美容科の授業見学ができるようにし、参加希望者の選択肢を増やしている。各イベントの実施内容は各学科の特徴、魅力を伝えられるように毎年、工夫を凝らし新しい内容にしている。令和2年度は、オンラインの個別相談を導入した。
- ・入学選考基準・方法については文書化し、毎年入試前には選考基準等について確認し共有することで適切に運用している。各学科の合否判定は「合否判定会議」によって決定する。
- ・入学選考に知り得た入学者の傾向、情報は広報課にて把握し、各期及び受験科の教員が連携してクラス運営や指導方法に活用している。
- ・学納金は、美容教育を行う上で必要となる教育関連の経費、施設管理費等を賄い、より良い学習環境を整えるための将来の投資金額を加味して設定している。学納金の見直しの検討はカリキュラムの変更や教材費の変更、消費税の値上げなど事業環境の変化に対応して行っている。
- ・入学辞退者に対しては、授業料等の納入金を返還している。募集要項にも明示し、適切に取り扱っている。

## 8. 財務

評価項目	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか

- ・経営指標等を活用した財務分析は必要に応じて行っている。
- ・予算は事業計画との整合性を図って編成しており、単年度予算、中期計画を策定している。
- ・予算の執行状況は把握しており、予算超過が見込まれる場合には補正予算を組んでいる。
- ・本校では監査法人による財務監査を実施しており、監査報告書は理事会等で報告している。
- ・本校では、外部より申請があった場合には、財務情報を公開する方針である。

## 9. 法令等の遵守

評価項目
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか
9-34-2 自己評価結果を公表しているか
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか

- ・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行っている。所轄官庁への諸届出は事務局担当者が適切に対応している。
- ・個人情報管理については、常に意識づけを行っている。個人情報を適切に取り扱うことについての教職員に意識は高く、適切に運用されている。
- ・自己評価に関わる規程等を整備し、規定に従い毎年自己評価を行っている。自己評価委員会を中心に「自己評価報告書」を取りまとめ、公式HPにて公表している。
- ・学校関係者委員会を毎年、数回開催し「学校関係者評価委員会報告書」としてまとめている。教職員で共有し、学校運営の参考にしている。毎年「学校関係者評価報告書」を取りまとめ、公式HPに掲載して広く社会に公表している。
- ・学校の特色、建学の理念、カリキュラムの内容などは「学校案内」及び公式HP等を通じて情報を公開している。

## 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか

- ・前年までは毎年、地域の方を招待して美容の施術を行うイベントを開催し、美容に関する知識・テクニックを教授してきた。また、設立の早い時期から諸外国の美容技術・文化の紹介に努めると同時に、国外で様々な研修・指導セミナーを行ってきた。その他、アジア各国の美容師のために短期研修も開催していた。コロナ禍が収束した時に実施できるように現在、準備を整えている。
  - ・令和2年度はコロナ禍のためにいろいろと実施できなかったが、通信環境を整えたことで毎年行っている国際交流については、オンラインで積極的に取り組めた。
  - ・ボランティア活動など社会活動に学生が自主的に参加することを認めている。本校のカリキュラムにおいてもボランティアや奉仕の精神を育み、美容がもたらす精神的なケアについても学んでいる。
- 社会状況が安定したときには、ご年配者にメイクやネイルの施術を行う機会も設ける予定。

令和2年度

# 学校関係者評価報告書

令和3年6月15日

日本美容専門学校

学校関係者評価委員会

## 1. 教育理念・目的・育成人材像

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・本校の教育理念、建学の精神、またそれを踏まえた育成人材像は明確に定められており、学校 HP や入学案内パンフレットを通して、学生・保護者等に周知されている。</li><li>・本校の育成人材像は、教育理念、建学の精神を核としつつ、学生の卒業後の就業先である美容業界が求める人材ニーズにも適合していると認識している。</li><li>・教育理念、建学の精神に基づき、美容師国家資格の取得だけに留まらない将来を見据えた幅広い美容教育、美容業界の発展に寄与する人材育成に取り組んでいる。</li><li>・社会のニーズ、美容業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いて構想を練っている。学校事業の取り組み方針や今年度の課題等に関しては各会議を活用して教職員への共有化が図られている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本美容専門学校教育理念・目的・人材育成像は、学校案内やリーフレット、ホームページ等にわかりやすく明記されている。校外に対しても、学校案内は勿論、体験入学やオリエンテーション等のイベントにおいても、学校側からしっかりとアドミッションポリシーや授業内容について詳細な説明を行っている。</li><li>・教職員は教育理念のもと日々、美の実践者の育成に精進し、美容界で活躍する学生の輩出を目標にしている。今後も変わることなく継続されることを願っている。</li></ul>

## 2. 学校運営

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・教育理念等に沿った学校運営方針は取りまとめており、毎年、教職員間で内容を再確認し、徹底を図っている。</li><li>・本校の教育理念、建学の精神をもとに「事業計画」を定めて、取り組み内容に応じて予算を配分している。また、事業やプロジェクトごとの執行・進捗状況についても各会議にて把握され、必要に応じて適宜見直しを行っている。</li><li>・理事会、評議員会は適切に開催されており、学校運営に関わる重要な事項については、理事会の承認を得て実行している。</li><li>・意思決定システムは整備されおり、意思決定の権限等は明確になっている。また、各会議体も機能的に運営されている。</li><li>・令和 2 年度は情報システム化をさらに見直し、継続的に業務の効率化と成果に繋げていくように改善した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校運営方針は具体的に設定されており、それが教職員に周知徹底されているのは非常に良い。</li><li>・令和 2 年度はコロナ禍により、通常の授業の継続が困難な中、新たに IT 教育システムを導入し教育環境を進化させたことは日美の柔軟性を感じた。新たな体制をより整えて、今後も継続して欲しい。</li><li>・卒業生、業界など学外の方々との関係性についてもとても良い繋がりを築いている。</li><li>・美容を志す方々、外部へも美容の魅力を発信し、美容関連本の出版やセミナーなどを実施している点は素晴らしい。今後も取り組んで欲しい。</li></ul>

## 3. 教育活動

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけており、専門科、通信科においては「美容師国家資格」、総合美容科においては「国際ライセンス」等の 100% 合格を目指している。</li><li>・「美容師国家資格」及び「国際ライセンス」の取得については万全の指導体制を整えている。その他、各種美容関連の検定試験においても取得に向けての指導体制を整備している。</li><li>・キャリア教育の一環として、様々な美容スキルが習得できるような教育の場を設けている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・美容専門課程専門科や通信課程通信科の美容師国家試験の高い合格率を常に維持している。また総合美容科の国際ライセンスの 100% という合格率などは、今後も高い水準を継続して欲しい。</li><li>・e-ラーニングシステムの導入、国内のみならず海外の美容業界で活躍しているヘアスタイリストのセミナーなど常に魅力ある美容教育を行っている。今後も積極的に取り組んで欲しい。</li></ul>

## 4. 学修成果

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・就職サポートは学生の主体性を大切に学生一人ひとりのニーズを的確に捉えた上で、クラス担任と進路相談室の担当者により行っている。就職活動における心構えや活動方法を進路相談室担当より「就職ガイダンス」にて伝えている。</li><li>・美容師国家資格の取得は100%を目標とし、通常の授業に加えて、受験対策講座を開講している。 合格実績、合格率については受験科にて全国水準及び都内の美容専門学校との比較を行っており、より高い合格率を目指して、毎年、指導方法のレベルアップに取り組んでいる。</li><li>・卒業生の社会的評価は、就職先のサロン等や母校を訪問する卒業生からの近況報告による情報が主な情報源となっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生の授業や学校内外のコンテストなどで作成した作品は校内に掲示されている。デザインがバラエティーに富んでいる点が素晴らしい。今後も期待する。</li><li>・コロナ禍でも、就職求人の件数が減っていないのは、美容業界の強みである。学生にとっては、安心して就職先を選択できるのはとても良い。</li><li>・生徒の自主性を尊重し、一人でも多くの学生が希望の就職先へ進めるように、引き続き体制強化に取り組んでいって欲しい。</li></ul>

## 5. 学生支援

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・進路相談室を中心に就職支援のための組織体制は整備されている。求人情報は毎年、新しい情報をまとめて、学生たちがいつでも閲覧できるようになっており、学生の就職相談にはクラス担任と就職担当がダブル体制でサポートしている。</li><li>・学生相談に関する体制は手厚く整備されている。退学率の低減に向けては、悩んでいる学生との面談はクラス担任の他、組織的に教務全体で連携体制を取り、きめ細やかなフォローを行っている。また、日々の指導にあたるクラス担任の他、内容に応じて本校の様々な教職員が学生相談に応じることができる体制となっている。</li><li>・学生の経済的側面に対する支援としては、就学支援の機関校として学生支援機構の奨学金や民間金融機関の学資ローン借入等の窓口として相談や手続きの支援を行っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生支援の体制はしっかり整っている。美容師国家試験対策、就職相談と指導、中途退学者への対応など様々なバックアップが実施されている点は継続して欲しい。</li><li>・令和2年度は学費等の相談が多かったのではないだろうか。担任のみならず教職員も一緒に相談を受けたり、奨学金担当、学費相談窓口を設けたりと様々なサポートをしている点が良い。今後もより一層充実した学生支援の仕組みづくりに取り組んでいってほしい。</li></ul>

## 6. 教育環境

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・美容教育の必要性に十分対応した施設・設備・機器類等を整備している。今年度は、全施設の抗菌コーティングを施工し感染対策を行った。毎年、必要箇所の塗装工事を行うなど、気持ちの良い校内環境の維持に努めている。</li><li>・令和2年度はコロナ禍の対応により、大型モニターを設置しオンライン授業を行える環境を整えた。またeラーニングシステムを導入しタブレットを使用した新しい学習方法を導入し、学生が十分に勉強できるよう環境を整備した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度は、全館の大型モニターの設置、自動の非接触型体温計や施設の抗菌シールド加工の実施など、充実した設備・施設を整えられている。教育環境が整っているという事は、学生にとって安心して学べる環境であると再認識した。</li><li>・防災については、毎年、避難訓練を行っている。また、防犯体制も強化されていることは安心できる。</li><li>・衛生管理、感染防止対策は常に適切な対応が出来るよう情報収集をし、柔軟に対応している様子が窺える。今後も継続を望む。</li></ul>

## 7. 学生の募集と受け入れ

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・高等学校等で開催される進学ガイダンス、説明会に積極的に参加し、本校の教育方針やカリキュラム等の情報提供を行っている。また、高等学校の教職員に対する説明会にも毎年参加し、本校への理解を深めていただいている。</li><li>・AO入試、指定校・公募推薦入試・一般入試と進路を検討する学生の選択肢を広げた。また、既卒者や社会人向けに社会人入試を行い、いずれの入試も適切な時期に受付・試験の実施を行っている。</li><li>・体験入学、個別相談は土日を中心に年間通して行っている。各イベントの実施内容は各学科の特徴、魅力を伝えられるように毎年、工夫を凝らし新しい内容にしている。令和2年度は、オンラインの個別相談を導入した。</li><li>・入学辞退者に対しては、授業料等の納入金を返還している。募集要項にも明示し、適切に取り扱っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高校ガイダンスや高等学校の教員への説明会など、高校や会場への訪問だけではなくオンラインを導入し、数多く参加して日美の美容教育への理解を広めている。今後も美容を志す方々へ門戸を広げて行って欲しい。</li><li>・来年度の入学希望者よりAO入試を導入し、入学希望者の入試方法の選択肢を増やすとともに、オンラインの導入など時代に即している点は良いことである。</li><li>・様々なニーズ・背景を持つ、美容を学びたいと考えている希望者のひとりひとりに寄り添い、柔軟な対応で入学をサポートする体制が整っている。これも継続して欲しい。</li></ul>

## 8. 財務

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・経営指標等を活用した財務分析は必要に応じて行っている。</li><li>・予算は事業計画との整合性を図って編成しており、単年度予算、中期計画を策定している。</li><li>・本校では監査法人による財務監査を実施しており、監査報告書は理事会等で報告している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・財務に関しては、現行は特に問題はないと認識している。</li></ul>

## 9. 法令等の遵守

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行っている。所轄官庁への諸届出は事務局担当者が適切に対応している。</li><li>・個人情報管理については、常に意識づけを行っている。個人情報を適切に取り扱うことについての教職員に意識は高く、適切に運用されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員ともに情報管理、個人情報管理など適切に取り扱っている点、独自のルールを作成し法令遵守を徹底していることは、今後も継続して欲しい。</li></ul>

## 10. 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度はコロナ禍のためにいろいろと実施できなかったが、通信環境を整えたことで毎年行っている国際交流については、オンラインで積極的に取り組めた。</li><li>・美容がもたらす精神的なケアについても学んでいる。社会状況が安定したときには、ご年配者にメイクやネイルの施術を行う機会も設ける予定。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・美容師とは公衆衛生を維持し、美容文化を支えて生活を快適にするという社会的な役割を担う存在である。美容を業とする者の育成をもって社会貢献しているといえるのではないかと。</li><li>・コロナ禍が落ち着いた時には、国際交流も盛んな日美ならではの方法でグローバルな活動を今後も継続して行って欲しい。</li></ul>